



＝優しいハートと確かな医療技術で地域社会に貢献します＝

～年頭所感～

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。昨年は7月に北部九州豪雨による日田、朝倉地区の土砂災害、9月には台風18号による津久見市を中心に甚大な被害が発生しました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。毎年のように発生する自然災害に対して恐怖を覚えるとともに万全な備えの必要性を痛感いたします。

さて、団塊世代が後期高齢者になる2025年まであと7年となりました。世界に類を見ないスピードで進む少子高齢化社会、この地域においても例外ではありません。昭和50年台に造成された大分市郊外の大型住宅団地は軒並み高齢者世帯となり地域全体で支えあうことが必要です。今年4月には医療・介護報酬の同時改定が行われますが、医療・介護・福祉をよりいっそう充実させ住み慣れた地域で、皆がいきいきと暮らし続けることができるようお願いいたします。

私たち優心会に与えられた使命は、この地域で、疾患の「予防」から「治療」「介護」そして「穏やかな看取り」までを多職種、他の医療機関や事業所との連携の下、やさしい心（ハート）と確かな（医療・介護）技術で遂行することと考えております。

本年が穏やか・和やかな年となり、皆様にとって健やかで幸福な一年となりますことを祈念いたします。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

文責 優心会理事長 小野隆宏

～お知らせ～ 春以降様々な変化が訪れます

2017年はバブル景気以来の景気回復局面だったそうで、年間の株価上昇率・大企業の業績アップ等 日本国としてはアベノミクスの大成功に沸いているとのこと。この大分においては身近にそんな雰囲気も見出せませんがいかがでしょう・・・？

さて、11月に入ったあたりからマスコミ等で診療報酬・介護報酬の同時改訂について触れられています。

「薬価部分」・・・薬の値段を下げるにより全体予算を圧縮させる

「本体部分」・・・医師の技術料報酬にあたる部分については『医師会の抵抗』により若干のプラスで決着

と、診療報酬については各社こういった言葉でまとめています。 実際医療機関の売り上げで直接医師が恩恵を受ける部分はごく僅かなのですが、非常に表現が気になるようです。

「介護報酬」・・・については、軽度介護者へのサービスや効率の良いサービスについて引き下げを行うとのこと。しかし、介護職員の処遇改善は強化し介護人材の確保に努めるといった概要。 こちらでは、事業主が信じられるのか、事業所報酬と職員報酬を分離して支給というなんだか複雑な方式が取られています。

未だ詳細は明らかになっていませんが、4月1日から全てがリセットされて制度も点数も負担もかわります。ただ、医療・介護ともに、これからは高いレベルでサービスを提供できる事業所が報酬面でも評価を受けるようになりそうです。一方で、高い評価の先では利用者の費用負担も増えます。厳しい目で利用する先を見て自身にとって最適な利用先を選別することが大切になりそうです。我々医療法人 優心会の各種サービスも、自信をもって選んでもらえるよう更に向上に努めてまいります。

文責：事務長 赤峯慎太郎



編集後記：紅白歌合戦はとても良かったと思いますがいかがでしたか？ 自分は普段ほとんどテレビを見ないので文明開化並みに年々すごくなる放送技術に腰を抜かしそうになります。しかし、画面の中でさえ晴れ着を見なくなりましたね。成人式では来ているのになぜそれっきりなのでしょう？ 自分が市長になったら強く推奨したいところですが・・・365日の一年としては最後の平成年です、「平成」な一年でありますように！！

赤峯慎太郎